

ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB) セミナー北陸2017

地域の未来は「新しい絆」によるしなやかな地域づくりから

地方における SIBの可能性

まちづくりと
お金の
新しい関係

能美市と北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)は昨年から同大学の産学官連携総合推進センター内に「JAIST-能美市連携オフィス」を開設し「行政評価」に関する共同研究を行ってまいりました。その成果として新行政評価システムを来年度から本格導入することになりました。さらに、今後、社会的問題解決と行政コスト削減を同時に解決していく社会モデル形成が大きな課題との認識から、官民連携の新しい仕組みの一つであるSIBについて、事例を交えながら理解を深め、可能性を探るために本セミナーの企画をいたしました。

持続可能でしなやかな地域づくりを行うにあたっては、公的な財源による対応だけでは限界があり、広く地域の様々な人で支え合う社会の実現が必要となります。様々なセクターの関係者が地域作りに参画していくことを促すことが重要で、事業実施においては、広く民間からの社会投資を促していく必要があります。活用されていない地域の資源が十分循環し、必要な地域の取組に供給される循環型社会市場の形成が必要です。

2017年 **3月20日** (月・祝)

午前10時～12時

能美市辰口福祉会館 交流ホール

(石川県能美市辰口町ヌ10 TEL0761-51-4511)

プログラム (予定)

1. オープニング
2. 「SIBの概要と経済産業省の取組
ーヘルスケア領域における導入事例の創出に向けて」 植木貴之氏
3. 「日本での本格的なSIB導入モデルー八王子市の事例」 幸地正樹氏
4. 「市民参加のSIBー東近江市の事例」 野池雅人氏
5. パネルディスカッション／質疑応答
「地方におけるSIBの可能性」
6. クロージング

対象・定員・申込等

対象：行政、NPO、金融・投資機関関係者 その他どなたでも

定員：50名 ※満員の場合は申込順

参加費：無料 ※受付で名刺を1枚頂戴します

申込方法：下記の申込先メールアドレス宛にお申込みください。件名を「SIB セミナー北陸 2017 申込」とし、本文に所属、役職、氏名、メールアドレスを記載してお申込みください。

・ 申込先メールアドレス：sib@jaist.ac.jp

共催：能美市、北陸先端科学技術大学院大学

お問合せ先：JAIST産学官連携総合推進センター 山本 (TEL:0761-51-1075 mail: yatomoo@jaist.ac.jp)

能美市役所 市民生活部企画振興課 (TEL: 0761-58-2210)

ソーシャル・インパクト・ボンド

(SIB)：社会的課題の解決と財政支出の抑制を同時に目指す新しい官民連携の社会モデル(手法)。従来行政が行ってきた社会政策を民間事業者やNPO等の主体が民間投資家からの出資を得た資金で実施。その社会的成果は定量的に評価され、成果が上げれば行政が投資家にプレミアムを付けて償還する仕組み。

講師等プロフィール

植木貴之(うえきたかゆき)氏：

- ・ 経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課 課長補佐
- ・ 現在ヘルスケア分野における情報活用や制度課題の検討等を担当

幸地正樹(こうちまさき)氏：

- ・ ケイスリー株式会社代表取締役
- ・ ソーシャルインパクトボンドジャパン運営責任者
- ・ 社会的インパクト評価イニシアチブ共同事務局
- ・ 日本初の社会的インパクト投資及び社会的インパクト評価に特化した日本初のコンサルティング会社であるケイスリー株式会社を設立

野池雅人(のいけまさと)氏：

- ・ プラスソーシャル投信株式会社代表取締役
- ・ 株式会社PLUS SOCIAL取締役兼CFO
- ・ 京都地域創造基金によるまちづくりの支援のほか、東近江市SIB方式のまちづくり補助金の実施を支援